

前橋市元総社公民館
公民館運営推進委員会

令和5年度 第2回委員会

日 時 令和6年3月14日（木） 午後2時

場 所 元総社公民館 第1会議室

会 議 次 第

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 議 事

(1) 令和5年度元総社公民館の事業実績について

①公民館の事業概要	・・・	1頁
②事業費等の状況	・・・	22頁
③公民館の利用状況	・・・	23頁
④各種団体活動事業	・・・	25頁
⑤地域寺子屋事業	・・・	27頁

(2) 令和6年度元総社公民館の運営と事業計画について

①公民館の重点施策	・・・	29頁
②公民館事業計画	・・・	31頁

※公民館運営推進委員会委員名簿	・・・	32頁
-----------------	-----	-----

4 意見交換

5 閉 会

(1) 令和5年度元総社公民館の事業実績について

①公民館の事業概要

生涯学習奨励員活動支援

生涯学習奨励員単独研修

(1) ねらい

①研修を通して生涯学習奨励員の資質向上を図り、研修の成果を地域に還元する。

②生涯学習奨励員同士の交流を深め、連携を図る。

(2) 対象等

対象：元総社地区生涯学習奨励員12名

周知方法：①定例会議の中で周知、②開催通知発送

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	12/14（木） 18:30～19:40	『介護のはなし』	講義	前橋市介護保険課 千葉 都 (出前講座)	8

(4) 評価と反省

今回、介護保険制度について学ぼうと研修会を開催しましたが、身近な家族に介護保険制度が必要になった際に、「どこへ相談したら良いのか。どのような手続きが必要なのか。」など、真剣に講師の講義を受講し、質問を行っていた。研修で習得した知識を参加した各奨励員が地域に還元してくれることを期待したい。

最後に、研修の進め方について、講師と事前打ち合わせを行いました。講師が思った以上に細かく広範囲に説明をしてくれたため、情報が多く、理解できなかった顔をしていた奨励員も見受けられた。今後の研修をより良いものにするため、絶対知ってもらいたい箇所を絞ったうえで、具体例を挙げながら、かみ砕いた言葉で講義が進むよう、講師とじっくり打ち合わせを行いたい。



講座受講の様子（単独研修）

自治会長・生涯学習奨励員合同研修

(1) ねらい

①研修を通して生涯学習奨励員の資質向上を図り、研修の成果を地域に還元する。

②自治会との連携を深め、地域の生涯学習の更なる活性化を目指す。

(2) 対象等

対象：元総社地区自治会長・生涯学習奨励員 21名（3名兼務）

周知方法：①各定例会議の中で周知、②開催通知発送

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	1/18（木） 18:30～19:30	『スマホ講座』 ～ LINE 初級編 ～ (デジタル活用支援推進事業)	講義 実習	NPO教育支援北関東	20

(4) 評価と反省

今回の研修は、本市の未来政策課より打診があった講座である。そのため、本市のDX推進計画に基づき、スマートフォンの操作に自信がない方やスマートフォンの操作方法を教える意欲のある方を対象に研修し、その成果を地域に還元してもらうことによって、地域住民の情報活用の向上を図ることを目的に開催したところ、自治会へ貸与したタブレット端末への連絡が多くなったこともあり、「自治会内で迅速な情報共有を行うツールになるのではないか。」と、参加者は真剣に講師等へ質問をしながら研修に取り組んでいた。アンケートでも、「学んだことを自分の生活や地域の中で役立てたい。」という意見が一番多く、概ね開催目的は達成されたように思う。

しかしながら、誰も取り残さない形で、全ての市民にデジタル化の恩恵を広く行き渡らせるのであれば、高齢者を中心に、レベル別に分けた研修を設け数回実施する必要があると感じるため、機会があれば、他の公民館事業や担当団体でも、今回のアンケートを参考にして開催できればと考えている。



講座受講の様子（合同研修）

子育て・親子支援

元総社すこやか学級

(1) ねらい

- 1 子育てに関する学習を通して、
 - ①明るく心豊かな家庭を築こうとする意欲を高める。
 - ②育児における実践力を養う。
- 2 同年齢の子どもをもつ親同士の交流や講師、託児協力者との交流を通して、
 - ①子育てに対する不安や孤独感を和らげる。
 - ②それぞれが充実した日常生活を営めるよう支援する。

(2) 対象等

対象：市内在住の未就園児（１～３歳未満）とその保護者

周知方法：館報へ掲載、地区内各所へチラシ配布

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	組数
1	9/27（水） 10:00～11:30	たこさんとあそぼう！ ～読み聞かせと 歌あそび～	実技 交流	たこさんのおはなしや 主宰 田子 智代	4組
2	10/4（水） 10:00～11:30	きらきら笑顔で親子遊び		子育て支援課 子ども発達支援センター 保育士 山崎 佐恵子 田中 真琴	5組
3	10/18（水） 10:00～11:30	ほめて育てるコミュニケーション トレーニング （ほめトレ！入門）		前橋市子ども支援課 職員 神子澤 信彦 主任	6組

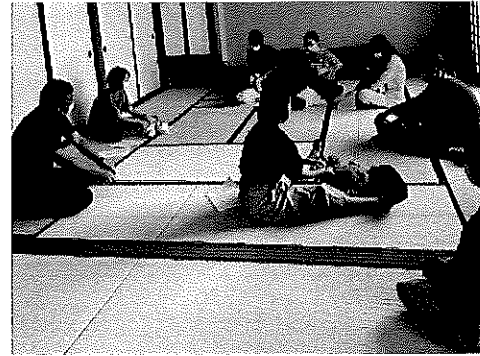
(4) 評価と反省

定員には満たなかったが、少人数の講座となり母親同士も打ち解けが早く、子ども同士も年齢が近かったため一緒に遊ぶ姿が見られかえって良かったと思う。

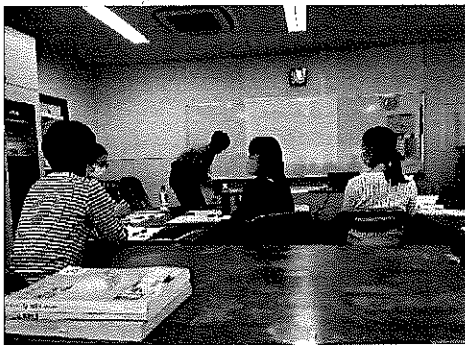
また、今年度久しぶりに託児を利用して母親の知識や教養を深められる講座を行ってみたところ好評であった。良い親子関係を築くためには母親の息抜きが必要であることを感じた。来年度も託児を利用して母親が取り組める楽しい内容を提供したいと思う。



お店屋さんごっこ
(たこさんとあそぼう！)



子どもとふれあい遊び
(きらきら笑顔で親子遊び)



お互いをほめることを忘れずに
(ほめトレ！入門)



託児の様子

親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんがきた”(ベビープログラム:略称BP)

(1) ねらい

- ①初めての子育てをする母親が、子育てに関する知識・技術について学習する。
- ②同じ月齢期の乳児を持つ母親同士が情報を共有し、交流することで子育ての不安を軽減し、お互いの子育てについて学び合う。

(2) 対象等

対象：市内在住で2ヶ月から5ヶ月の第一子（令和4年12月17日～令和5年4月16日生）を育てている母親とその子（定員12組）

開催場所：清里公民館 第一・二和室

周知方法：①子育て支援課の事業（赤ちゃん訪問、健康相談等）を利用し対象者へチラシを配布。

②各公民館で、チラシを自治会回覧すると共に、公民館内にチラシを設置。

③申込み状況に応じ、各公民館報、ホームページへ掲載。

延べ参加者数：27組

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	組数
1	6/16（金） 10:00～12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	講義 実技 交流	子育て支援課BP ファシリテーター	7組
2	6/23（金） 10:00～12:00	赤ちゃんのいる生活と環境 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える ・育児から学ぶ			7組
3	6/30（金） 10:00～12:00	赤ちゃんの遊びと心の発達 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・0歳時期の心の発達の大切さを知る			6組
4	7/7（金） 10:00～12:00	親になること ・はじめから一人前の親はいない ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も赤ちゃんも家族も大切 ・育児から学ぶ			7組

(4) 評価と反省

例年通り清里公民館を会場として、元総社・総社・清里3館合同開催を行った。グループになって意見交換をすることで子育ての不安や悩みを共有できて、安心感を得られた母親が多かったようである。講座終了後も公民館利用団体として登録し、交流を続けているようなので、今後も継続して公民館を交流の場として利用してもらえようサポートしていけたらと思う。

青少年体験・チャレンジ活動

プレイルーム元総社

(1) ねらい

文化的な活動や工作を通して、

①子どもの豊かな心を育む。

②学校や学年の枠を越えた交流の場を提供し、仲間づくりを進める。

③地域交流の場を提供し、地域の絆を深める。

(2) 対象等

元総社地区ボランティア連絡会の協力のもと実施。各回全て、年長の幼児から小学4年生までの児童を対象とし、保育所や小学校へのチラシやタブレット配付、公民館報を通して各回参加者を募集。

延べ参加者数：142名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	5/27 (土) 10:00～11:30	『スポーツ チャンバラ教室』	講義 実習	講師：大崎 美弥子 (群馬県スポーツチャンバラ協会) 元総社地区ボランティア連絡会	29
2	6/24 (土) 10:00～11:30	『こども電気教室』 ～レモン電池～	講義 実習	講師：青木 恵 ほか1名 元総社地区ボランティア連絡会	32
3	7/27 (土) 10:00～11:30	『生演奏で歌って動 いて健やか教室』	鑑賞 実習	講師：宇田 隆博 猪熊 美奈子 (職員講師による出前講座) 元総社地区ボランティア連絡会	21
4	11/18 (土) 10:00～11:30	『マジックショーと マジック教室』	鑑賞 実習	講師：ワンダー吉井 (市民講師による出前講座) 元総社地区ボランティア連絡会	33
5	12/25 (月) 10:00～11:30	『けん玉教室』	鑑賞 実習	講師：山崎 隆裕 (職員講師による出前講座) 元総社地区ボランティア連絡会	27

(4) 評価と反省

元総社地区ボランティア連絡会の協力により、幼児から小学4年生までの児童を対象とする地区行事として長年定着している。参加した子ども達は講座を通して、学年や学校区を超えて交流し、新しい交友関係を築くことができることから、子ども達も楽しみにしている。

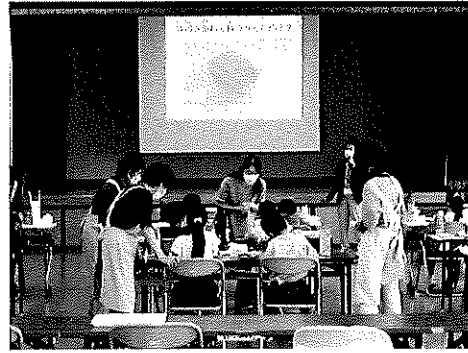
また、元総社地区ボランティア連絡会の会員が、子ども達のサポーターとして一緒に講座へ参加することで、地元の世代間交流の場ともなっている。

対象者が幼児から児童ということを考慮し、講座内容や難易度など講師にも工夫していただいているおかげで、各回のアンケート結果から満足度の高い評価を得ているのではないかと感じる。

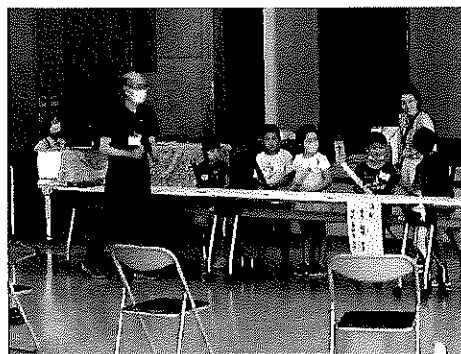
来年度も、ボランティア連絡会と相談しながら、子ども達のニーズに応えつつ、より魅力的な教室（講座）を開催できるよう努めたい。



同級生と試合
(スポーツチャンバラ教室)



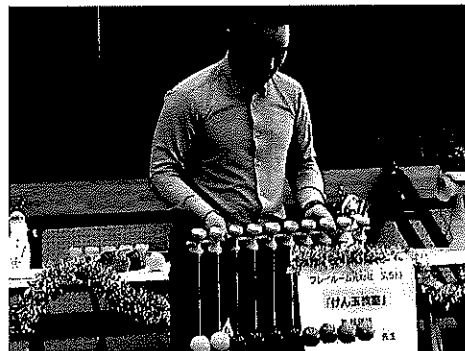
レモン電池を作製中
(こども電気教室)



ドレミパイプで合唱
(生演奏で歌って動いて健やか教室)



マジックショーに参加する子ども達
(マジックショーとマジック教室)



10連大皿に挑戦！うまく乗るかな？
(けん玉教室)

元総社少年教室(夏・朝ごはん講座、しゅくだい講座、フクロウ講座)

(1) ねらい

- ①夏休み期間中の学びや体験活動を通して、学ぶことの意欲や子供たちの自由な発想を引き出し、自らの考えを表現する力を育む。
- ②朝食の大切さを座学で知り、調理実習を通して食に対する興味を持ってもらう。
- ③生き物の仕組みについて感じる疑問を引き出し、その理由を考え、実際にふれあうことにより生態への理解を深める。
- ④学年や学校を越えた交流を通じて、コミュニケーション能力を向上させる。

(2) 対象等

- ① 朝ごはん講座：元総社地区在住の小学生・中学生の親子
(中学生は中学生同士の参加も可)
- ②しゅくだい講座：元総社地区在住の小学3年生から6年生
- ③ フクロウ講座：元総社地区在住の小学生

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	8/5(土) 10:00~12:30	元総社地区 食生活改善推進員 プレゼンツ 親子で朝ごはんを ちゃんと食べよう！	実習	元総社地区 食生活改善推進員	8 (4組)
2	8/8(火) 10:00~12:00	夏のしゅくだい お手伝い教室 ～書道～	講義 実習	書道あをみ会	13
3	8/20(日) 10:30~12:00	フクロウ探求・ ふれあい講座 ～オリジナル フクロ ウ図鑑を作ろう～	講義 実習	講師：あかぎふくろう 一家 川島 志保 協力者：あかぎふくろ う一家 中島 梨絵	6

(4) 評価と反省

①朝ごはん講座

4年ぶりとなる調理実習室を使用した講座となった。4組の参加となったが、規模的にはちょうどよいことが分かった。料理をするのが楽しいという感想も聞け、一緒に調理することの楽しさを学んでいる様子だった。参加者の中には、きょうだいに参加しているのを見て公民館の調理実習の講座を待っていたという参加者がいた。その希望を叶えることができたことは非常に嬉しかった。

②しゅくだい講座

開始直前になってお手本の準備が必要となりバタバタしてしまったことや、講師側とどのように進めていくのかしっかりと決めていなかったため見通しの甘さを感じたが、何とか形になった。開始後は、各テーブルに講師がついて丁寧に書き方のコツを教えていた。1時間立たずして集中力が切れてくるため、適宜休憩を入れるよう案内した。夏休みの宿題講座は参加者が多く、自宅で行うよりもはかどったという声もあったため、来年度も引き続き行っていきたいと感じた。

③フクロウ講座

講師より、フクロウの説明に入る前に図鑑とは何か説明をしていた。事前に公民館制作の動画を見てもらうよう周知していたが、実際に視聴したか微妙な反応だったため、講座実施後に宣伝する形でもよかったと思う。過去にフクロウの講座に参加したことがある参加者がおり、リピーターがいる講座だと分かったため、次回以降は図鑑ではない形でフクロウの講座が開催できるとよいと感じた。



①生地がうまくできるかな？



①おいしく盛り付けよう！



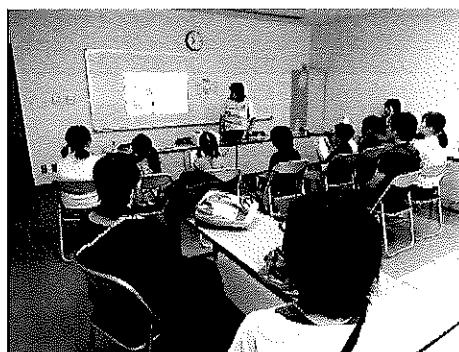
①ピザ・サラダ・オレンジゼリーが完成！



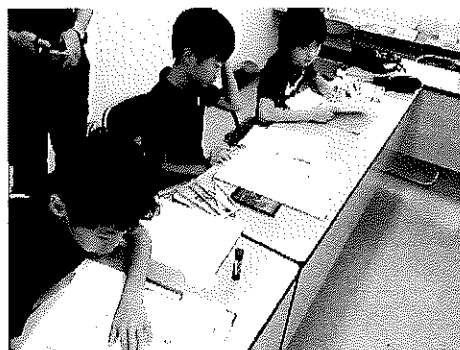
②丁寧に書こう！



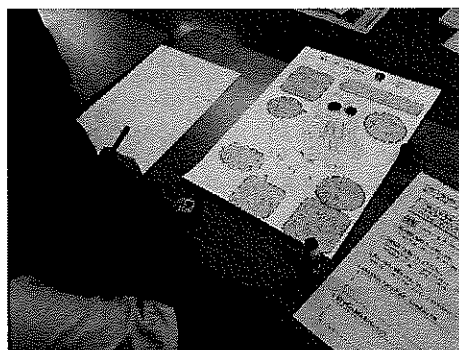
②みんな真剣です。



③フクロウの生態の勉強中



③一生懸命、図鑑を作成中



③そろそろ完成！

元総社少年教室(冬・受験生応援！元総社学習室)

(1) ねらい

元総社公民館周辺には学習できるスペースが限られている。受験生にとって移動する時間も惜しいため、地域密着の公民館の部屋を学習室として開放することにより、受験を間近に控えた中学生の学びを支える。その上で、以下のねらいを持って実施する。

- ①受験生の学びの場を提供し、勉強に集中することができる。
- ②受験を目前に控え、疑問を解決することができる。
- ③受験生同士が勉強することにより、受験に対するモチベーション維持を助

ける。

(2) 対象等

前橋市立元総社中学校 3年生

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	12/27(水) 9:00~12:00	受験生応援! 元総社学習室	実習	地域寺子屋指導者 高井 浩子 赤石 武 赤石 邦子	9

(4) 評価と反省

地域寺子屋に通う生徒の要望があつてから講座として開催することとなり、形となったことはよかったと感じた。アンケートからも「集中して勉強することができた」「また開いてほしい」という声が多くを占めた。高い満足感を得ることができた様子で勉強もはかどっていた様子である。

受験勉強に関して、学習する内容が変更されていることも踏まえて同じく地域寺子屋に協力してくれている、群馬大学の学生に講師を要請する必要があると感じた。

最後に企画担当者から一言メッセージ入りキットカットを渡した。これが、受験へのエールになってほしいと思う。この講座が、第一志望校合格の一助となればこれ以上嬉しいことはない。



隣の友達と一緒に勉強



おなじみの先生に質問!



分からないところを一緒に克服



公民館からのチョコのエール!

学び合い、人権、地域ふれあい

元総社ベテラン学習講座

(1) ねらい

元総社地区在住の高齢者に対する「集いの場・仲間づくりの場の提供」、「健康に関心を持ち、喜び・生きがいを見出す機会の提供」、「地域で活躍する人材の活用（学びの還元）」を目的とする。

本講座では、以下のねらいをもって開催する。

- ①地域の高齢者のつどいの場・仲間づくりの場の提供。
- ②健康に関心を持ち、喜び・生きがいを見出す機会の提供。
- ③地域で活躍する人材の活用。（学びの還元）

(2) 対象等

対象：市内在住で60歳以上の方（先着30名）。

周知方法：①館報へ掲載、②各自治会へチラシを回覧依頼、③単位老人クラブ会長へチラシを配布、③チラシを館内及び図書館分館に掲示

(3) 内容（全4回の連続講座）

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	10/26（木） 10:00～11:30	初心者太極拳教室	実技	総拳NEXT 代表 山岸 洋一	9
2	11/1（水） 13:30～15:00	未来のための健康プロジェクト講座① 「健康長寿の秘訣～ながーく元気であるために～」	講義	明治安田生命	9
3	11/9（木） 10:00～11:30	3B体操教室	実技	3B体操指導者 村上 君江	10
4	11/16（木） 13:30～15:00	未来のための健康プロジェクト講座② 「知って“はっらっ!” ～ずっと元気に過ごすために～」	講義	明治安田生命	9

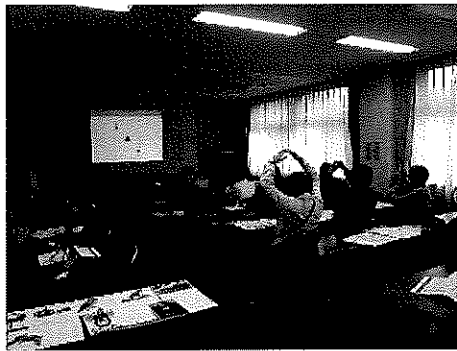
(4) 評価と反省

シニア世代を対象に、健康について学んだり体を動かしたりしてリフレッシュできるような講座を検討し、講義と実技をバランス良く織り交ぜた講座を開催した。同時に、自主グループの代表者を講師として迎え、本事業のねらい

である地域人材の活用及び学びの還元を図ることができたと感じる。

講義では、明治安田生命の健康プロジェクト講座を2本立てで行ったが、血管年齢測定やベジチェックを始め、もし介護が必要になったときの具体的事例などを詳しく説明していただき、参加者が興味深く耳を傾けていたのが印象的であった。

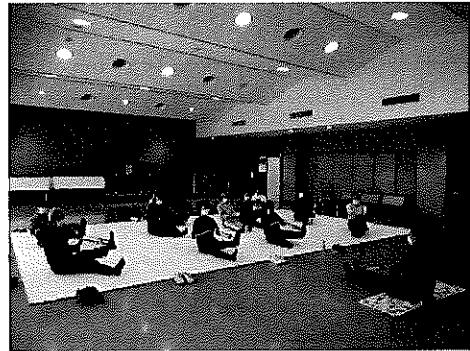
実技では、太極拳をやってみたかったという声が多く、参加者のニーズに応えた企画ができよかったと感じた。また、3B体操は高齢者でも無理なく気軽に行えるスポーツということで大変好評であり、今回の講座をきっかけに自主グループが立ち上がったのは、講座を企画した担当として嬉しく思う。これを機会に地域で活躍する人材が増え、学びの還元をしてくれることを期待したい。



トランプゲームで脳トレ（健康プロジェクト講座）



初心者太極拳教室



3B体操教室

児童生徒の人権教育に係る作品（標語や作文、ポスター等）の活用

（1）ねらい

地区内4小中学校の児童・生徒が作成した人権教育に係る作品を、地区内に周知・提供することにより、地区内人権意識の向上と啓発を図る。

（2）概要

ア 元総社地区青少年育成推進員会と地区内4小中学校と連携し、地区内4

小中学校へ「いじめをなくすスローガン」の作成依頼。

各学校の優秀作品の中から、元総社地区青少年育成推進員会にて最優秀作品を選出した。

イ 市教育委員会から各学校への協力依頼に基づき、公民館からも地区内4小中学校へ児童生徒の人権教育に係る作品の提供依頼を行った。

(3) 内容

ア 最優秀作品に選出されたスローガンの「のぼり旗」を元総社地区青少年育成推進員会で作製。各学校へ「のぼり旗」を配布すると共に啓発掲示を依頼した。

なお、各学校の代表作品パネルを作製し、館の玄関ホールへ「のぼり旗」と一緒に掲示すると共に、「のぼり旗」については、外へ向けて館の敷地内にも設置して啓発を行っている。

イ 地区内の4小中学校から提供された児童生徒の人権教育に係る作品を1月13日(土)から1月26日(金)まで、休館でも中庭から観られるようホールロビーの窓ガラスを利用し、260作品もの人権作文や標語等を展示した。

【展示作品】

元総社中学校:人権標語 人権作文

元総社小学校:いじめ0宣言、人権作文、児童委員会の取り組み・人権集会の様子

元総社南小学校:なかよし標語、思いやり(ことば)の花をさかせよう

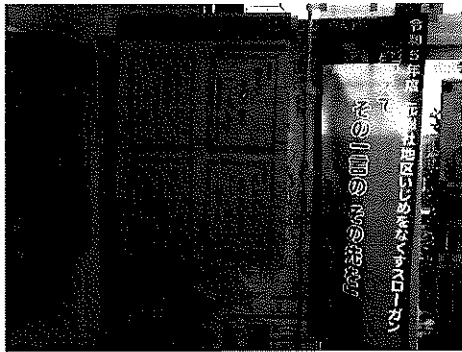
元総社北小学校:人権標語、人権作文

(4) 評価と反省

地区内4小中学校へ人権教育に係る作品の提供を依頼したところ、260作品もの作品提供があった。休館でも、外から観られるよう展示したことにより、公民館利用者や地域の方々へ児童・生徒が普段感じている人権について広く知っていただく良い機会となった。

また、今年度も元総社地区青少年育成推進員会と協力し、地区内4小中学校へ元総社地区いじめをなくすスローガンの作成を依頼し、各学校の代表作品のパネル展示と最優秀作品の「のぼり旗」の作製・掲示を行ったり、公民館報にも掲載するなどを行ったことにより、地区内人権意識の向上と啓発が図れた。

来年度も、元総社地区青少年育成推進員会と地区内4小中学校と連携し、児童・生徒の作品を展示して、地区内人権意識の向上と啓発活動を継続していきたい。



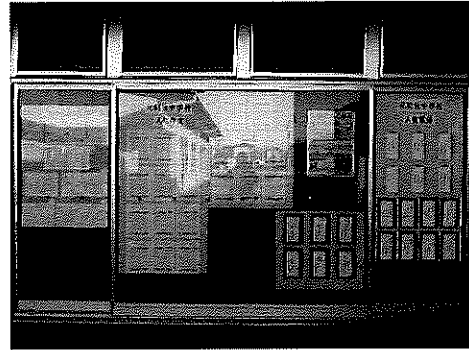
各学校の「いじめなくすスローガン」
「のぼり旗」啓発掲示の様子



人権教育に係る作品展示全体
の様子（中庭中央）



元小・元南小・元北小学校の
作品展示の様子（中庭北側）



元北小学校・元総社中学校の
作品展示の様子（中庭南側）

幼児と保護者のふれあい七夕短冊飾り展

（１）ねらい

公民館に来館した方や地区内の保育所（園）・幼稚園に通う幼児と保護者による七夕短冊の作成を通じて、

- ①幼児と保護者の絆を深める。
- ②発表の場を提供し、幼児の豊かな心を育む。
- ③地域と絆を深める。

（２）対象等

来館された方の作成短冊は6月19日から、玄関ホールの笹竹に随時飾りつけて展示し、地区内の保育所（園）・幼稚園に通う幼児と保護者による七夕短冊は、7月1日から休館日でも中庭から楽しんでもらえるよう、ホールロビーの窓ガラスを利用して中庭に向けて展示を行った。

周知方法：①館報へ掲載、②ポスターを館内掲示、③各依頼先の保護者へお知らせ配布

展示場所：元総社公民館ホールロビーの窓ガラス

協力団体：元総社地区青少年健全育成会、元総社地区ボランティア連絡会

延べ短冊枚数：642枚（ほか来館された方の七夕短冊60枚）

(3) 内容

回	月日・時間	内容	短冊枚数
1	7/1（土）～ 7/14（金） 常時	公民館に来館された方や地区内の保育所（園）・幼稚園に通う幼児と保護者が、願い事を記載したり、装飾を加えた色とりどりの短冊の作成及び展示を通じて、幼児と保護者の本網や地域のつながりを保つことなどをねらいとして開催。	702

(4) 評価と反省

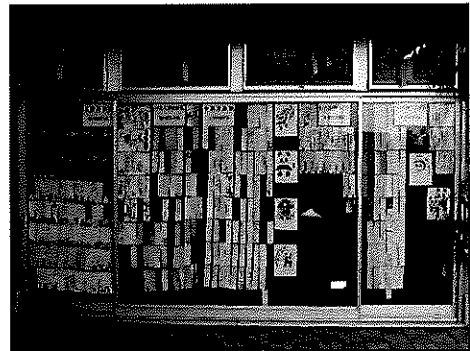
今回で三年目となる事業であり、元総社地区内にある7つの保育所（園）、幼稚園に協力を得た。

幼児とその保護者が協力して作成した色とりどりの短冊642枚を地区ボランティア連絡会員（6名）と共に中庭から観られるよう展示し、大変見応えのある展示になった。

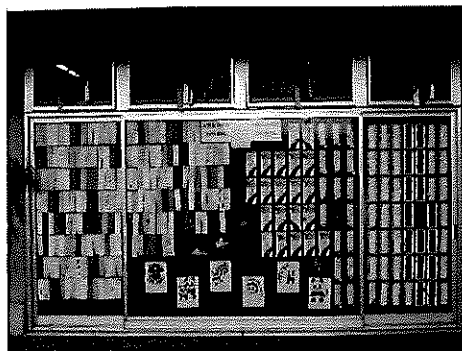
また、展示期間中、特に休日に多くの親子やその家族が短冊展示を観に足を運び写真を撮っている様子が見受けられた。その様子を見てみると、事業目的のほかに、親子等で足を運ぶ楽しい場所の提供も併せて出来たのではないかと感じると共に、今後もマンネリ化せず、より多くの方に足を運んでもらえるよう展示の仕方などを創意工夫していきたい。



展示全体の風景
(中庭)



北側半分の展示風景
(中庭)



南側半分の展示風景
(中庭)



玄関ホールでの展示風景

自主学習グループ活動支援

(1) ねらい

- ①公民館を利用し活動をしている自主グループリーダー相互の学びあいと交流を図る。
- ②自主学習グループ会員の高齢化が進んでいる現状を踏まえ、これからも元気で過ごせるよう体の中から健康にすることを学ぶ。
- ③研修を通して学んだことを地域に還元できるような体制づくりの推進を図る。

(2) 概要

公民館利用自主グループ代表並びに会員を対象に実施。

(3) 内容

回	月日	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	11/25（土）	グループ連協親睦会	交流会	なし	31
2	1/25（木）	リーダー研修会 「救急車が来るまでの対応について学ぶ講習会」 （前橋市による出前講座）	講義及び 実習	前橋市消防局 西消防署	33

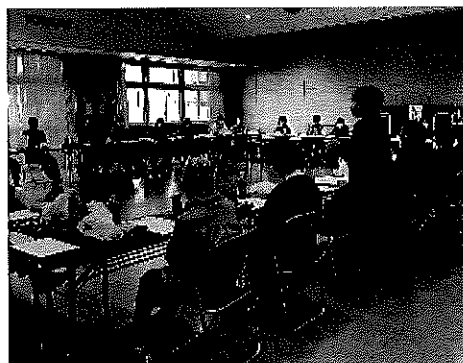
(4) 評価と反省

親睦会では、日ごろの成果を披露してもらおうという観点から、吹奏楽のグループにミニ演奏会を行ってもらった。その後、各グループの活動紹介や意見交換などを行ない、コロナが第5類に移行したことにより各グループとも活動自体は活発になってきている様子が伺えた。

リーダー研修会では、「救急車が来るまでの対応について学ぶ」という内容で、前橋市消防局西消防署による出前講座を行った。



アンサンブル響さんによる生演奏



活動紹介により日頃の成果を発表

参考: 令和5年度元総社公民館利用自主学習グループ連絡協議会行事

回	月日	内容等
1	4/13 (木)	総会
2	10/28 (土) ~29 (日)	第38回元総社地区文化祭
3	11/25 (土)	親睦会 (公民館ホールにて活動紹介)
4	12/4 (月)	元総社公民館大掃除
5	1/14 (日)	元総社ふれあいまつり (中止)
6	1/25 (月)	自主グループリーダー研修会 「救急車が来るまでの対応について学ぶ」
7	2/1 (木)	グループ連協だより第55号発行

文化祭

(1) ねらい

地域住民の学習・文化活動ならびに伝統芸能の継承活動等の成果発表を通して、地域の芸術文化の振興と向上を図り、併せて地域住民の連帯感を深めることを目的とする。

(2) 概要

事業名：第38回元総社地区文化祭

周知方法：①館報へ掲載、②ポスターの館内掲示、③各自治会の掲示板に掲示、④文化祭プログラムの全戸配布及び館内設置

(3) 内容

月日・時間	部門	内容	人数
10/28 (土) 9:00~15:00	作品展示	【参加者】21団体・一般1名 絵画等（地区内4小中学校作品、元総社幼稚園、元総社保育所）、油絵・水彩画・活動発表（自主グループ、福祉施設、一般作品）、俳句・書道・パソコン学習・宇宙の学習活動紹介（自主グループ）、陶芸・絵手紙・編み物（自主グループ）、活動写真・広報紙等（生涯学習奨励員連協）、活動記録等（地域づくり協議会）	延べ来場者数 2,428
10/29 (日) 9:00~13:50			
10/29 (日) 9:00~13:50	舞台発表	【伝統芸能】1団体 総社神社太々神楽保存会 ※上記ほか2団体については、1日目に同時開催された「のびゆくこどものつどい」で披露。 【活動発表】公民館利用自主グループ15団体 自治会推薦4団体 大正琴合唱、キーボード合奏、新舞踊、オカリナ合奏、太極拳、フォークダンス、民謡踊り、社交ダンス、詩吟、民族舞踊・太鼓舞踊、吹奏楽、フラダンス、ハーモニカ合奏、合唱、ウクレレ合奏	

(4) 評価と反省

今年度は、年度初めに地区の青少年健全育成会長より、これから「のびゆくこどものつどい」実行委員会を立ち上げて実施を検討するとなると、5月実施は難しく、時期的に文化祭開催時期と一緒にになってしまうため、1日目の「子どもを中心とした文化祭」を「のびゆくこどものつどい」に充てさせて欲しい

と文化祭正副委員長会議の場で話があったため、学校やPTA、自主グループ連協とも意見交換を重ねた結果、1日目の一部を「のびゆくこどものつどい」に置き換え、2日目を「大人を中心とした文化祭」として開催した。

1日目の朝は雨でどうなるかと思いましたが、結果として2日間とも天候に恵まれ、また「のびゆくこどものつどい」と1日目は同時開催であったこともあり、来場者が昨年より約1,600人多かった。やはり、子どもを中心とした催しを開催すると来場者が多くなることを実感すると共に、作品展示や舞台発表の参加者も多くなっているのを、少しずつ令和元年以前の文化祭に近づいているように思う。

今年も、公民館や地域で学習するグループが一堂に会し、日頃の成果を通して互いに交流し、また伝統芸能の継承活動等の成果発表を行い、地域の芸能文化の振興と向上を図り、地域住民の連帯感を深めることができたと思うが、来年の文化祭をより良いものにするため、今年の実績点を解決していきたい。



保食之舞
『総社神社太々神楽保存会』



野ばら等を披露
『フォークダンス協会』



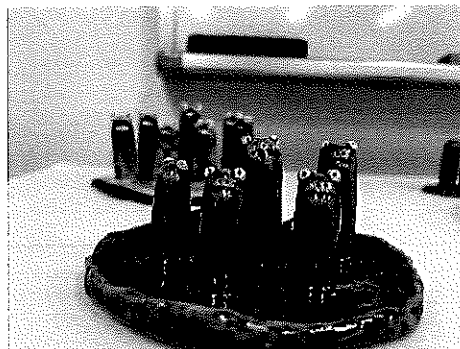
手のひらを太陽に等を披露
『プリリアントコーラス』



青空の下で爽やかに♪
『アンサンブル響』



三味線と太鼓のリズムで沖縄民謡
『群馬エイサーシンカー舞人』



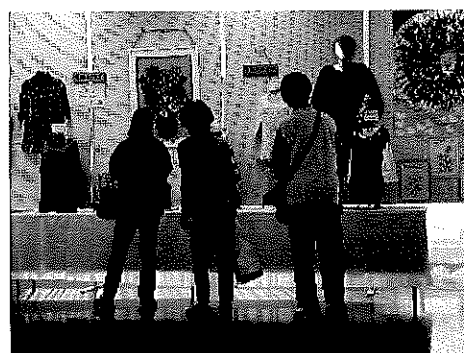
カエルさん達がお出迎え
『楽友会』



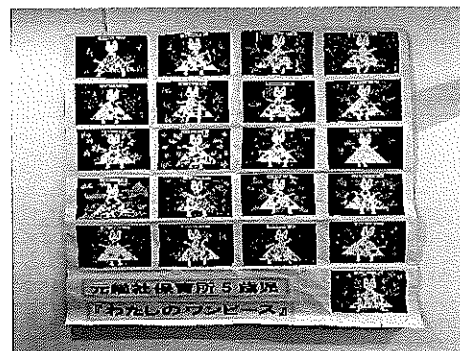
小中学校による書画の展示
『皆さんありがとうございます』



園児の皆さんによる作品
『元総社幼稚園』



素敵な作品がたくさん！
『元総社手編みクラブ』



園児の皆さんによる作品
『元総社保育所』

②令和5年度事業費等の状況（決算見込み）

1 備品整備・補修工事費

公用車車検	88,445円
公用車エアコン・ブレーキランプ修繕	111,221円
合 計	199,666円

2 講座学級等の事業費（講師謝礼等）

地域づくり事業	3,000円
プレイルーム元総社	19,500円
少年教室	21,400円
ベテラン学習講座	6,300円
子育て・親子支援講座	22,500円
自主学習グループリーダー研修（無料）	0円
文化祭開催事業（※実行委員会助成）	110,000円
生涯学習奨励員研修（無料）	0円
公民館運営推進委員会等	15,000円
合 計	197,700円
※その他、消耗品等	247,894円

3 公民館運営費

消耗品費等	147,049円
補修費（施設修繕：下記参照）	1,306,400円※
社会参加費	0円
通信運搬費	0円
合 計	1,453,449円

※修繕、補修費については生涯学習課予算。＝1,306,400円

内訳：ホールエアコン修繕	620,000円
ホール照明LED化改修工事	528,000円
アトリエ・図書館排煙窓修繕	158,400円

③公民館の利用状況

1 利用件数及び利用人数 (令和元～5年度、5年度は2月実績まで)

年度	一般利用 (有料)		一般利用 (免除)		主催事業		合 計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
元	668	8,936	1,824	30,382	154	10,320	2,646	49,638
2	298	3,240	1,049	13,488	33	615	1,380	17,343
3	322	3,787	1,199	16,114	28	1,925	1,549	21,826
4	433	5,207	1,596	27,373	43	1,626	2,072	34,206
5	493	6,792	1,662	34,631	74	5,762	2,229	47,185

2 令和5年度：月別利用回数及び利用人員 (2月まで)

月	利 用 件 数 及 び 利 用 者 数							
	有 料		免 除		主催事業		計	
	件数	参加人員	件数	参加人員	件数	参加人員	件数	参加人員
4月	33	445	128	4,775	1	8	162	5,228
5月	42	589	157	3,200	2	49	201	3,838
6月	57	720	172	3,008	2	40	231	3,768
7月	44	612	159	4,375	3	40	206	5,027
8月	40	580	110	1,719	10	266	160	2,565
9月	40	535	164	3,102	3	82	207	3,719
10月	37	545	160	2,449	39	4,987	236	7,981
11月	48	657	158	2,337	8	148	214	3,142
12月	44	757	138	2,310	5	109	187	3,176
1月	52	649	148	2,751	1	33	201	3,433
2月	56	703	168	4,605	0	0	224	5,308
3月	—	—	—	—	—	—	—	—
計	493	6,792	1,662	34,631	74	5,762	2,229	47,185

3 団体種別利用 (令和2～5年度)

(5年度は2月まで)

団 体	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	件数	利用人数	件数	利用人数	件数	利用人員	件数	利用人員
公共団体	435	4,969	465	5,877	535	11,853	566	19,647
青少年団体	22	308	33	498	29	669	20	243
女性団体	11	199	10	219	16	312	30	570
成人団体	858	11,056	990	13,100	1,412	19,414	1,510	20,598
高齢者団体	9	94	6	77	11	141	10	214
主催事業	33	615	28	1,925	43	1,626	74	5,762
企業その他	12	102	17	130	26	191	19	151
合 計	1,380	17,343	1,549	21,826	2,072	34,206	2,229	47,185

4 部屋別利用

部屋名	令和4年度			令和5年度2月まで		
	件数	利用人員	利用料金	件数	利用人員	利用料金
ホール	603	17,035	1,152,560	543	21,258	1,030,240
和室(1・2)	637	8,300	121,910	634	10,024	120,840
会議室(1・2・3)	552	6,145	234,770	597	8,717	247,930
視聴覚室	240	3,193	114,940	239	3,696	113,280
料理実習室	51	231	23,120	24	297	8,050
アトリエ	202	2,435	103,810	192	3,193	95,850
合 計	2,285	37,339	1,751,110	2,229	47,185	1,616,190
(有料団体計)	(484)	(5,925)	(251,310)	(493)	(6,792)	(241,140)

※ 有料団体計は、部屋利用全体の内数

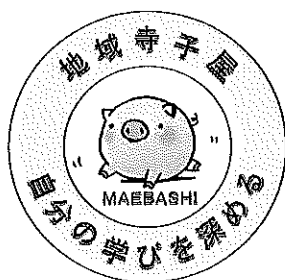
5 陶芸窯実費徴収金額 (5年度は2月まで)

	令和4年度	令和5年度
件 数	12	8
金 額	22,760	14,710

④各種団体活動事業

団体	月日	事業内容等	参加対象	人数	会場
各実行委員会	10/ 1 (日)	市民運動会 ※雨天中止	地区住民	—	元総社小学校
	10/28 (土)	のびゆくこどものつどい・ふれあいの広場	地区住民	2,027	元総社公民館
	10/28 (土) 29 (日)	文化祭	地区住民	2,428	元総社公民館
	1/14 (日)	元総社ふれあいまつり ※中止	地区住民	—	元総社公民館
体育推進委員会	6/18 (日)	ソフトバレーボール大会	地区住民	100	元総社中学校
	11/ 5 (日)	グラウンドゴルフ大会	地区住民	120	元総社北小学校
	11/26 (日)	スマイルボウリング大会	地区住民	100	元総社小学校
	12/ 3 (日)	西部地区ソフトバレーボール大会	元総社・総社・清里・東地区代表	30	第六中学校
老人クラブ連合会	7/ 5 (水)	老連グラウンドゴルフ大会 ※中止	地区老連会員	—	大友町さくら公園
	7/26 (水)	老連輪投げ大会	地区老連会員	73	元総社公民館
青健	12/ 9 (土)	前橋の子どもを明るく育てる活動 元総社地区活動	地区住民	61	元総社公民館
地域づくり協議会	6/11 (日)	防災研修会	安全安心部会 自治会役員 小中学校 (校長・教頭・PTA) 女性防火クラブ	80	元総社公民館
	7/ 9 (日)	ディスコン講習会	福祉・交流部会 体育推進委員会	30	元総社小学校
	8/27 (日)	防災講演会	安全安心部会 自治会役員 女性防火クラブ 地区住民	100	元総社公民館

	10/15（日）	歴史・文化ウォーク	歴史伝統部会 地区住民	30	石倉町上石倉 公民館
	11/18（土） 19（日）	防災ワークショップ	安全安心部会 自治会役員 小中学校 （校長・教頭） 女性防火クラブ	60	元総社南小 元総社小 元総社中 元総社北小
	1/21（日）	元総社の歴史を学ぶ公開講座	歴史伝統部会 地区住民	40	元総社公民館
	2/18（日）	三世代交流ディスコン大会	福祉・交流部会 地区住民	90	大渡体育館
	2/25（日）	元総社郷土かるた大会	歴史伝統部会 地区住民	100	元総社公民館



事業説明

前橋市教育委員会では、家庭や学校と連携しながら地域で子供を育てる取組の一環として「地域寺子屋事業」を平成28年度より実施しています。この事業は、地域の公民館等で中学生の自主学習を支援することで、生徒が自分の学力を伸ばせるようにするとともに、生徒の主体性や社会性を育むことをねらいとして行っています。

実施会場・開催曜日
(19会場)

第一中学校 【月・木】
〈会場〉一中地域活動室

みずき中学校【月・木】
〈会場〉三俣町投票所

第三中学校 【火・金】
〈会場〉総合教育プラザ

第五中学校 【月・木】
〈会場〉五中地域活動室

第六中学校 【月・木】
〈会場〉総社公民館

第七中学校 【月・木】
〈会場〉七中地域活動室

明桜中学校 【月・水】
〈会場〉明桜中地域活動室

桂萱中学校 【火・木】
〈会場〉桂萱公民館

芳賀中学校 【月・木】
〈会場〉芳賀公民館

元総社中学校【月・木】
〈会場〉元総社公民館

東中・箱田中【火・金】
〈会場〉旧東公民館

南橋中学校 【月・木】
〈会場〉南橋公民館

鎌倉中学校 【月・水】
〈会場〉鎌倉中地域活動室

木瀬中学校 【月・木】
〈会場〉永明公民館

荒砥中学校 【月・木】
〈会場〉城南公民館

大胡中学校 【月・木】
〈会場〉大胡支所

宮城中学校 【月・水】
〈会場〉宮城公民館

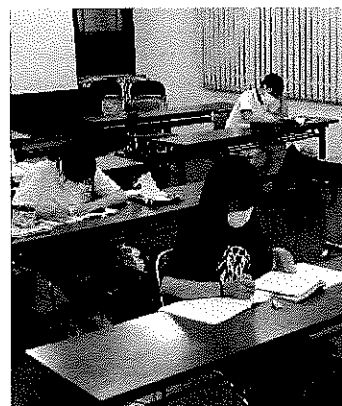
粕川中学校 【月・木】
〈会場〉粕川公民館

富士見中学校【月・木】
〈会場〉富士見公民館

○授業日の放課後に、週2回3時間*開催します。 ※季節や学校の予定により、変更することがあります

○対象はすべての中学生で、登録した生徒は開催時間のうちの希望の時間帯に、学校帰りに会場に立ち寄って学習することができます。

○実施会場に指導者と地域サポーター・大学生ボランティアを配置し、中学生の自主学習を支援しています。生徒は自分の課題に応じて、自主学習に取り組みます。



令和5年度 地域寺子屋（元総社公民館） 参加生徒数

【1 学期】

5月		計			
実施日	5/11	5/15	5/18	5/22	5/25
参加人数	39	33	30	32	25
					16
					175人

7月		計			
実施日	7/3	7/6	7/10	7/13	
参加人数	21	18	21	33	
					93人

【2 学期】

9月		計			
実施日	9/4	9/7	9/11	9/14	9/21
参加人数	25	20	28	22	19
					28
					22
					164人

11月		計			
実施日	11/2	11/6	11/9	11/13	11/16
参加人数	10	6	11	20	9
					24
					23
					17

【3 学期】

1月		計			
実施日	1/11	1/15	1/18	1/22	1/25
参加人数	18	8	19	18	24
					13
					100人

2月		計			
2/1	2/5	2/15	2/19	2/22	2/26
18	19	17	23	18	17
					15
					127人

6月		計			
6/1	6/5	6/8	6/12	6/15	6/19
11	30	26	34	28	26
					12
					20
					209人

10月		計			
10/2	10/5	10/12	10/16	10/23	10/26
29	18	22	25	14	20
					16
					160人

12月		計			
12/4	12/7	12/11	12/14		
24	20	24	22		
					90人

1 学期		1 回あたり 参加者数	
延べ人数	477人	開催回数	19回
			25.1人

2 学期		1 回あたり 参加者数	
延べ人数	534人	開催回数	27回
			19.8人

3 学期（1月現在）		1 回あたり 参加者数	
延べ人数	227人	開催回数	13回
			17.5人

令和5年度（5月～2月）

実施回数

59回

参加のべ人数

1,238人

1 回あたり平均

21.0 人

(2) 令和6年度元総社公民館の運営と事業計画について

①公民館の重点施策

1 目的

公民館は、地域を基盤とした社会教育施設であることをふまえ、本公民館においても、地域性を反映した公民館運営を進めていく。また、地域住民が学習を通じて互いに連携し、地域に対する理解を深め、学んだ成果を地域で発揮していくことにより地域づくりが進められるよう務める。

2 来年度の重点施策

来年度の元総社公民館における重点的な施策は以下のとおり。

(1) 子育て・親子支援

本地区は、アパート、寮、公務員宿舎などが多く、比較的他市からの転勤者が多い地区である。潜在的に子育てに困っている保護者が多いことから、家庭教育に関する事業を実施し、子育て環境の充実を図る。

- ①元総社すこやか学級やベビープログラム、子育て支援講座などの主催事業を開催する。
- ②元総社地区ボランティア連絡会と保健推進委員会との共催で子育てサロン「かえるっ子」を支援する。
- ③公民館で活動している子育て団体の育成、支援を行う。
地区住民を対象とした子育て支援講座を開催し、新たな人材の育成に努め、託児ボランティア活動の次世代の担い手に繋がる掘り起こしを継続的に行っていく。

(2) 青少年体験・チャレンジ活動

青少年関係団体等と連携した様々な事業の支援や少年教室などの主催事業を実施し、青少年の野外集団活動・創作活動・地域行事などへの参加を促進し、少年期の健全なる心身の発達を図る。具体的に下記の事業を実施する。

- ①のびゆくこどものつどいなどのイベントを通じて、地域の子どもたちの社会参加と世代間の交流を促進する。
- ②少年教室を実施し、子どもの情操や社会性を培い地域に対する愛着を深める。夏休み期間中に複数回集中開催できるよう、時期を調整する。
- ③ボランティア連絡会と公民館との共催事業で、幼少期から少年期にかけた児童を対象とした「プレイルーム元総社」を実施し、世代や学校区を越えた交流を図り、子どもの豊かな心を育む。

(3) 生涯学習奨励員活動支援

生涯学習奨励員の活動支援・推進のため、各種の研修会や講座を設ける。

- ①視察研修
前橋及び近隣の地域の歴史遺産を視察し交流と研鑽を深める。
- ②出前講座を活用した研修会
市の出前講座を活用して、共通の学びを通じた研鑽を高めるとともに交流を図る。

(4) 自主学習グループ活動支援

自主学習グループ会員相互の親睦を深める事業を実施するとともに、各グループの学習成果を地域に還元する取り組みを支援する。

(5) 学び合い、人権、地域ふれあい

住民同志の交流や支えあい、歴史や伝統文化の継承など、多面的に講座を開催し、住民の主体的な地域づくりの取り組みを支援する。

①地域を学ぶ歴史講座

国府を中心とする遺跡など、元総社の大切な歴史資源について学ぶ講座を設け、地域に対する愛着を醸成することを目的とする。

②伝統文化の継承

伝統・文化の継承の場を創出し、世代間交流も含めた地域内での文化継承を推進する。講師には地元講師を依頼する予定

③ベテラン学習講座

健康づくりや豊かなライフスタイル、また元総社地区の大切な歴史資源について学ぶ講座を実施し、地域住民として郷土を愛し心豊かな生活を営むための知識を得る。

④人権教育

地区内小中学校の生徒・児童が作成した人権教育に係る作品を、広く周知・提供することにより、人権意識の向上と啓発を図る。

⑤文化祭

公民館の自主グループの日頃の学習成果の発表の場である地区文化祭を開催する。併せて地域の各種団体が出し物・出店を文化祭の中で実施し、地域の一大イベントとして、住民の交流や活性化を図る。

また、総社神社太々神楽や上宿町獅子舞、大友町百万遍などの郷土芸能の発表コーナーを設け、幅広い年齢層が郷土の歴史に触れ、郷土に愛着を持ち、主体的に地域づくりに参加する姿勢を醸成する。

⑥幼稚園、保育園（所）との連携

公民館と園、保護者との連携事業が少ないため、七夕飾りへの協力を通じて連携が切れないようにしている。

3 地域他団体との連携と問題点について

その他、自治会連合会の地域づくり協議会などが主催し、学校や関係団体が参加する防災、健康、福祉など、多くの活動に引き続き協力し、地域と連携しながら、地域の発展に貢献していきたい。

一方で、今まで地域活動の中心を担っていた方々が年々少なくなるとともに、現役世代や子育て世代が地域活動に消極的であるなど、地域活動における人員確保や担い手不足などの課題が懸念されている。

②令和6年度元総社公民館事業計画

1 実施予定事業の概要

単位：円

事業名	予定内容	予算要求額
子育て、親子支援 (元総社すこやか学級)	未就園児をもつ保護者の学習及び子育てボランティアの育成	70,000
青少年体験・チャレンジ活動 (元総社少年教室)	世代間の交流を通じた少年の育成	29,800
青少年体験・チャレンジ活動 (プレイルーム元総社)	幼児や低学年の小学生を対象とした講座の実施	44,500
生涯学習奨励員活動支援 (生涯学習奨励員研修)	奨励員と自治会長との合同研修	16,000
自主学習グループ活動支援 (自主学習グループリーダー研修)	公民館利用団体を対象とした研修会	9,000
学び合い、人権、地域ふれあい (ベテラン学習講座) (地域づくり講座)	高齢者の生きがいづくり支援事業 地域人材を活用した講座の実施	61,000
文化祭	学習成果の発表を通じた、地域文化の振興と向上	110,000
情報提供事業	「かんぼう元総社」発行。ホームページやフェイスブックによる情報発信	315,975
公民館運営推進委員会	公民館における各種事業の企画及び実施についての調査審議	16,000
合 計		672,275

令和5年度 元総社公民館運営推進委員会 委員名簿

任期:令和7年6月30日 (敬称略)

No.	氏 名	所属団体・役職名	区 分	備 考
1	佐 藤 健	元総社小学校 校長	学校教育関係者	住所・電話 は勤務先
2	小 池 千 秋	元総社中学校 校長		
3	黒 澤 均	元総社地区民生委員児童委員協議会 会長	社会教育関係者	
4	林 悦 実	元総社地区青少年健全育成会 会長		
5	吉 江 佐登美	元総社地区体育推進委員会 会長		
6	石 井 宏 樹	元総社公民館利用自主グループ連絡協議会 会長		
7	大 関 三枝子	元総社地区ボランティア連絡会 会長		
8	奥 野 美代子	元総社地区保健推進員会 会長		
9	水 野 涉	元総社地区自治会連合会 会長	学識経験者	委員長
10	伊 藤 茂 男	元総社地区生涯学習奨励員連絡協議会 会長		副委員長